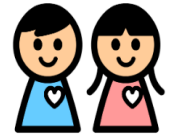




教育支援部ニュース



名古屋特別支援学校 教育支援部 発行 令和5年度 第3号 令和6年2月

巡回相談、発達障害児等支援・指導検討会報告

今年度は幼稚園3件、小学校13件、中学校1件の合計17件の巡回相談または支援・指導検討会を行いました。今回は、その活動の中で感じたこと、考えさせられたことなどをお伝えします。

感じたことの一つ目として、「対象となる子どもの低学年化」があります。これは本校が担当した件だけですが、幼稚園を3件担当したのは初めてでしたし、小学校での相談対象児童15名のうち、小1が7名と突出しています。3年生までを合わせると11名でした。これは早い段階で適切な支援を行い、子ども達がよりよい学校生活を送ることができるようにしたいという気持ちの表れだと感じました。

二つ目としては、「担任の先生が若い」ということです。教師になって1～3年目という先生が何名かいらっしゃいました。大学で特別支援教育について学んできている若い先生の知識や考え方への期待が大きいのだらうと感じました。

最後に、今年度は全校研修としての検討会が2件ありました。そこには、一つの事例を通して「自分の学級にも」と当事者として考える多くの先生方の姿がありました。学校生活で生きづらさを感じている子どもたちのことを知ってもらうためにも全校研修での検討会はよい機会だと思いました。



教育支援具・書籍紹介

「やさしく学ぶ からだの発達」

林 万り 監修
全障研出版部

発達精神内科医の先生が監修している書籍です。ボイタ法やボバース概念に詳しい理学療法士と作業療法士が、子どものからだの発達をやさしく学ぼうと1年間「みんなのねがい」誌に連載した内容を少し修正し、座談会を加えて1冊にまとめられています。赤ちゃんの時から大人になる過程で起こる課題について、イラストを交えて分かりやすく具体的に書かれています。初めて肢体不自由の児童生徒を担当される先生方におすすめの1冊です！



TOSS センサリーツールシリーズ 「ふみおくん」



姿勢の悪い子どもや多動が見られる子への使用に
おすすめ!子どものセンサリーニーズ(感覚欲求)に応
え、合理的な配慮を提供することができます。

センサリーツールとは、その子の感覚欲求に応えるこ
とで子どもたちの
感覚に働きかけ、さま
ざまな行動調整を行
うための感覚刺激教
具です。子どもが求め
る感覚刺激を与えるこ
とで、気持ちを落ち着
かせたり、集中させた
りする効果が期待で
きます。



靴は脱いで足の裏から感覚を
入力できるように配慮します。



足の裏だけではなく、すねへの
感覚刺激も有効です。

一年間、教育支援部の活動に、ご理解・ご協力ありがとうございました!